



◎拠点の長岡山公園の苗ハウスに集まった皆さん。ズラッと並ぶ葉ボタンは種から育てました。

たくさんの花と笑顔を地域に還元 10周年を迎えたコミュニティビジネス

城廻自治会コミュニティ事業部の皆さん

「もう10年?」「早かったな」と笑い合うのは、城廻自治会コミュニティ事業部の皆さん。コミュニティビジネス※として始めた「花の苗販売」が今年、10周年を迎えました。

9月5日には15人が集まり、パンジーとビオラの苗をポットに移したり、葉ボタンに肥料をあげたりする作業をしていました。11月の販売に向けて約1万2000株の苗を育てるそうです。代表の中野武さんは「最初は土づくりが難しく、試行錯誤を重ねた。今はきれいな花が咲かせるし、メンバーも自然と役割分担ができて作業がスムーズ。継続は力なりよな」と胸を張ります。メンバーの皆さんも「気心知れているのが10年も続いた秘訣。会えばほっとできる仲間がいるのがいい」「苗の販売を通じて出会いが増え、ありがとうと言合える関係が広がった」と、口と手を上手に動かしながら、楽しそうに作業を続けます。

中野さんは10年を振り返り、「集まれば何かが生まれると始めた。コミュニティビジネスには儲けよりも、地域の人たちとのいい関係を生む価値がある。花が育つのをみるのは、自分の生きがいにもなった」と、すてきな話を聞かせてくれました。

※コミュニティビジネス……住民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法で解決する事業

編集 幸記

▽300号。私は187号からなので、もう100号越え。思い返せば、本当にたくさんのお世話になり、感謝感激です。「広報うちこが好き」とインターンを希望してくれた学生にも感動。いやあ、余韻に浸りたいのに、もう始まる次の制作……(裕)
▽初めて特集を担当しました。過去の広報紙を見返していると、自分の成人式の写真を発見。そのあまりのチャラさに自分でちょっと引いてしまいました。皆さんも昔の広報紙を眺めてみてはどうでしょうか(史)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

